

## Indicators Update

2012年7月25日 全9頁

# 6月貿易統計～輸入金額が30ヶ月振りのマイナス

輸出の下振れリスクが高まる

経済調査部 エコノミスト  
長内 智

### [要約]

- **【概況】輸出金額と輸入金額がともに減少**：2012年6月の貿易統計は、輸入金額の伸びがマイナスに転じて貿易黒字となったことをポジティブに評価できる一方で、海外経済減速の影響が顕在化して輸出の先行きに不透明感が一段と強まるなど、明暗が混在する内容であった。6月の輸出金額は前年比▲2.3%と市場コンセンサスを小幅に上回ったものの、4ヶ月振りのマイナスとなった。6月の輸入金額は、前年比▲2.2%と30ヶ月振りの減少となった。貿易収支は+617億円と4ヶ月振りの黒字になった。ただし、貿易収支の季節調整値をみると、▲3,008億円と赤字基調が継続している点には留意したい。
- **【地域・商品別動向(名目)】対EU貿易収支が2ヶ月連続の赤字**：主要商品別にみると、輸出が増加した業種では、「輸送用機器」が前年比+13.2%と5ヶ月連続で増加した。欧州債務問題の影響で欧州向けが大きく減少した一方で、米国向けとASEAN向けが好調を維持したことや、昨年の中日本大震災後の落ち込みからの反動増がプラス方向に作用した。他方、減少した業種では「化学製品」や「一般機械」が注目される。主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+15.1%、EU向けが同▲21.3%、アジア向けが同▲4.4%となった
- **【今後の見通し】輸出の下振れリスクに注意**：輸出は、しばらく横ばい圏で推移すると考えている。当社の基本シナリオでは、欧州債務問題が一段と深刻化しなければ、輸出は腰折れせずに徐々に持ち直していくことを見込んでいる。しかし、欧州債務問題の再燃を起因にして海外経済の不確実性が増しているため、輸出の下振れリスクが前月より高まっている。当社は、輸出が横ばい圏で推移して、輸入水準も高い状況が続く結果、貿易収支が黒字基調に転じるには、もうしばらく時間を要すると考えている。

## 【概況】輸出金額と輸入金額がともに減少

2012年6月の貿易統計は、輸入金額の伸びがマイナスに転じて貿易黒字となったことをポジティブに評価できる一方で、海外経済減速の影響が顕在化して輸出の先行きに不透明感が一段と強まるなど、明暗が混在する内容であった。6月の輸出金額は前年比▲2.3%と市場コンセンサス(同▲3.0%)を小幅に上回ったものの、4ヶ月振りのマイナスとなった。この背景として、財政問題が経済の重石となっているEU向け輸出の低迷と、景気減速が進む中国向け輸出の軟化が指摘できる。輸出金額の季節調整値が前月比▲1.4%と3ヶ月連続のマイナスとなり、その3ヶ月移動平均値も5ヶ月振りのマイナスに転じたことを踏まえると、輸出は失速局面に入った可能性がある。6月の輸入金額は、前年比▲2.2%と30ヶ月振りの減少となった。これは、欧州債務問題の再燃に伴うリスク回避の動きによってエネルギー価格が調整し、輸入価格が前年比▲1.6%と19ヶ月振りのマイナスとなったこと、輸入数量の伸びに一服感が出たことによる。輸入金額が減少に転じた影響で貿易収支は+617億円と4ヶ月振りの黒字になった。ただし、貿易収支の季節調整値をみると、▲3,008億円と赤字基調が継続している点には留意したい。

図表1：貿易統計の概況(原系列、前年比、%)～輸入金額が30ヶ月振りのマイナス

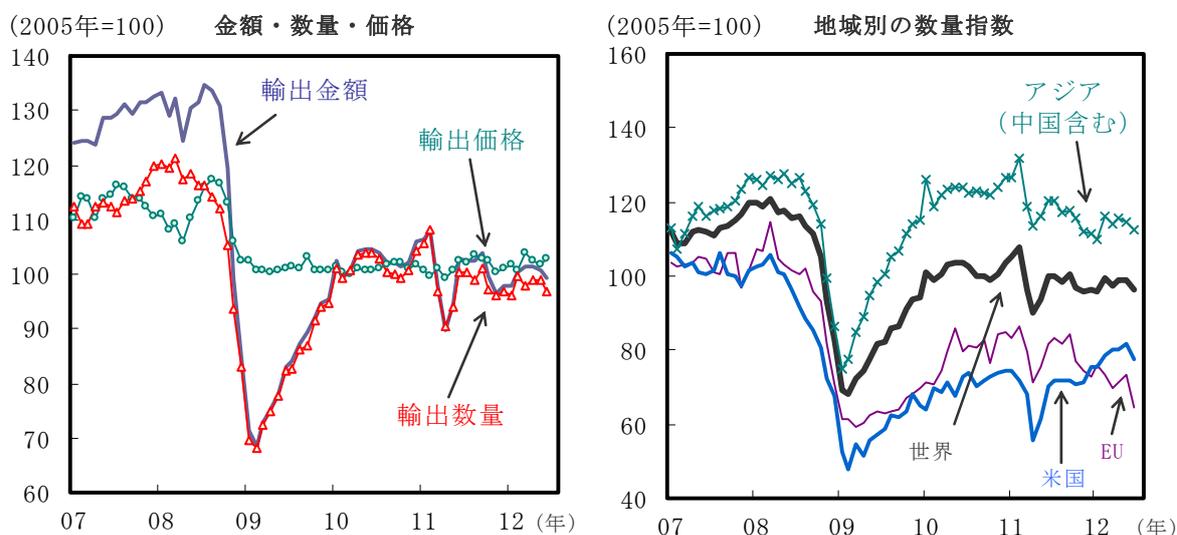
	2011年			2012年					6月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
輸出金額	▲3.8	▲4.5	▲8.0	▲9.2	▲2.7	5.9	7.9	10.0	▲2.3
コンセンサス									▲3.0
DIR予想									▲4.4
輸入金額	17.9	11.5	8.2	9.6	9.3	10.6	8.1	9.3	▲2.2
輸出数量	▲4.0	▲4.4	▲6.6	▲10.1	▲3.8	3.7	4.7	9.3	▲2.3
価格	0.2	▲0.1	▲1.5	1.0	1.2	2.1	3.1	0.6	0.1
輸入数量	6.0	▲1.0	▲0.7	3.1	3.2	3.1	1.9	8.4	▲0.7
価格	11.3	12.5	8.9	6.3	5.9	7.3	6.1	0.9	▲1.6
貿易収支	▲2,830	▲6,912	▲2,083	▲14,815	254	▲871	▲5,239	▲9,104	617

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表2：輸出金額・数量・価格と地域別輸出数量の推移(季節調整値)～輸出に失速の兆し



(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。

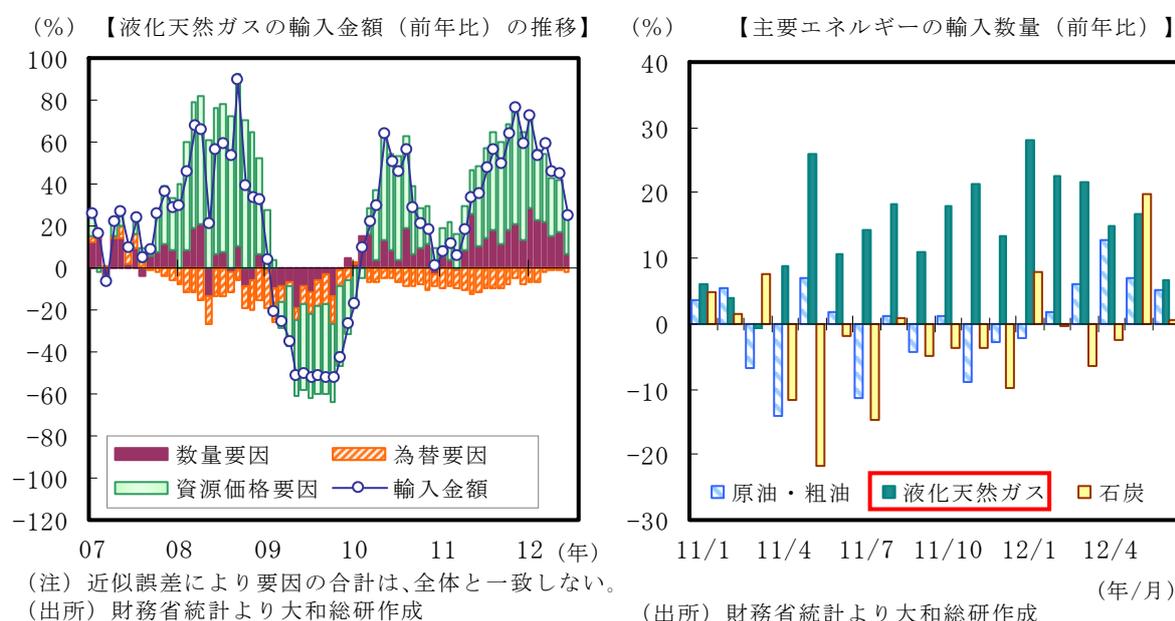
(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 【地域・商品別動向(名目)】対EU貿易収支が2ヶ月連続の赤字

主要商品別にみると、輸出が増加した業種では、「輸送用機器」が前年比+13.2%と5ヶ月連続で増加した。欧州債務問題の影響で欧州向けが大きく減少した一方で、米国向けとASEAN向けが好調を維持したことや、昨年の東日本大震災後の落ち込みからの反動増がプラス方向に作用した。他方、減少した業種では「化学製品」や「一般機械」が注目される。「化学製品」はアジア地域で景気減速感が強まっていることやEU向けの低迷を受けて、前年比▲4.4%と10ヶ月連続の減少となった。マイナス幅が前月(前年比▲2.5%)より拡大したことを踏まえると、「化学製品」の輸出環境は依然として厳しい状況にあると判断できよう。「一般機械」は前年比▲10.2%と3ヶ月連続のマイナスとなり、マイナス幅も大きく拡大した。これは、米国向けが堅調である一方で、EU向けとアジア向けが落ち込んだことによる。また、「原料別製品(鉄鋼、非鉄金属、金属製品など)」も、EU向けとアジア向けの低迷を受けて、前年比▲3.0%と2ヶ月振りのマイナスとなった。輸入については、代替燃料である「液化天然ガス」の輸入金額が前年比+24.5%、輸入数量が同+6.7%と揃って増加した。ただし、「液化天然ガス」の輸入金額は、輸入数量の伸びが低下傾向にあり、資源価格の押し上げ効果も減衰しつつあるため、今後は頭打ち傾向が強まると見込む(図表3)。

主要国・地域別の輸出金額は、米国向けが前年比+15.1%(5月、同+38.1%)、EU向けが同▲21.3%(5月、同▲0.9%)、アジア向けが同▲4.4%(5月、同+4.5%)となった。経済の緩やかな回復が続く米国向け輸出は8ヶ月連続のプラスと回復基調を維持した。財政債務問題の影響が実体経済に波及してきたEU向け輸出は8ヶ月連続のマイナスとなり、マイナス幅も大きく拡大した。なお、5月に史上初めて赤字を記録した対EU貿易収支は、6月も▲39億円と2ヶ月連続の赤字となった。アジア向けは、前年からの反動増の影響が剥落したことに加えて、経済減速の顕在化などから、2ヶ月振りのマイナスとなった。

図表3：液化天然ガスの輸入金額と主要エネルギーの輸入数量(前年比)



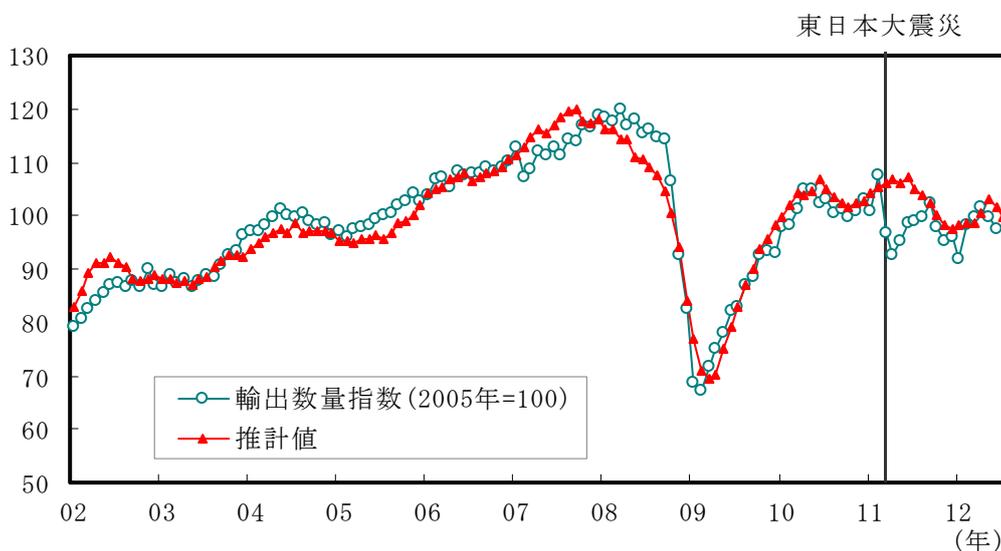
## 【今後の見通し】輸出の下振れリスクに注意

輸出は、しばらく横ばい圏で推移すると考えている。当社の基本シナリオでは、欧州債務問題が一段と深刻化しなければ、輸出は腰折れせずに徐々に持ち直していくことを見込んでいる。これは、緩やかな景気回復が続く米国向け輸出が底堅く推移し、金融緩和政策による景気下支え効果が今後期待される新興国向けの輸出が徐々に改善すると考えるためである。しかし、欧州債務問題の再燃を起因にして海外経済の不確実性が増しているため、輸出の下振れリスクが前月より高まっている。さらに、当社の輸出数量指数の推計値も、今後輸出が低下することを示唆している（図表4）。そのため輸出のリスク要因として、欧州債務問題や不確実性が高まっている海外経済の行方については、引き続き慎重に見極めていきたいと考えている。

輸入は、これまでの増加基調にブレーキが掛かるとみている。これは、欧州債務問題の再燃後に、投資家のリスク回避的な動きが強まって国際商品市況が調整したことが背景にある。実際、輸入の前年比を寄与度分解すると、エネルギー価格要因の押し上げ寄与は、ゼロ近くまで低下している（図表5）。さらに、原子力発電所の稼働停止に伴う代替燃料の輸入は、遅くとも電力需要がピークを迎える8月には峠を越えると考えている。他方、日本の液化天然ガスの調達価格が国際的に割高な水準にあることや、資源価格が中東地域の地政学的リスクなどによって再び上昇するリスクが残っている点には注意が必要であろう。

当社は、輸出が横ばい圏で推移して、輸入水準も高い状況が続く結果、貿易収支が黒字基調に転じるには、もうしばらく時間を要すると考えている。

図表4：世界景気と為替による輸出数量指数の推計値



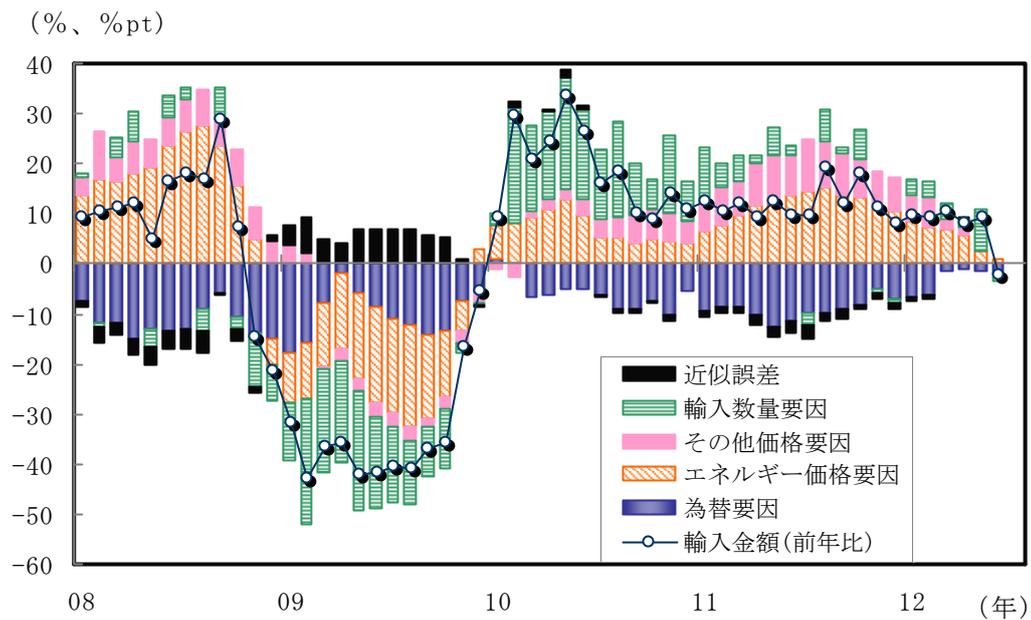
(注1) 輸出数量(推計値) =  $-396.45 + 5.38 \times \text{OECD\_CLI}[-2] + 0.09 \times \text{主要国生産指数}[-2] - 0.53 \times \text{実質実効為替}[-2] - 8.32 \times \text{震災ダミー}$

\* 括弧内[ ]は先行月数。係数は全て1%有意。推計期間は02年1月～12年5月。  
OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。  
主要国生産指数は14ヶ国の生産指数を日本の輸出額で加重平均したもの。  
震災ダミーの期間は11年3月～11年8月。

(注2) 輸出数量指数の季節調整は内閣府、直近月は大和総研推計。

(出所) 財務省、内閣府、OECD、日本銀行、Haver Analyticsより大和総研作成

図表 5 : 輸入金額(前年比)の寄与度分解

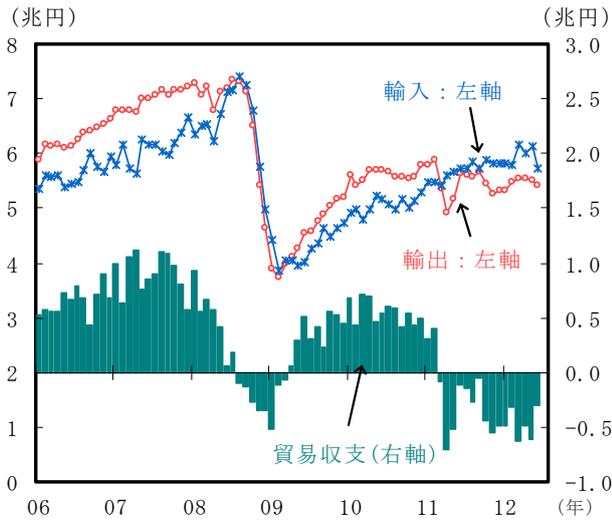


(注1) エネルギー価格要因は、鉱物性燃料（石油、天然ガス、石炭等）の寄与度。

(出所) 財務省より大和総研作成

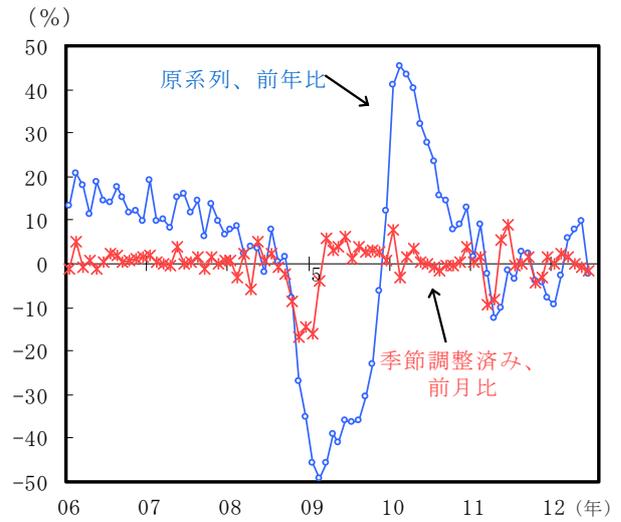
**概況** 輸入に頭打ち感が見られる

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

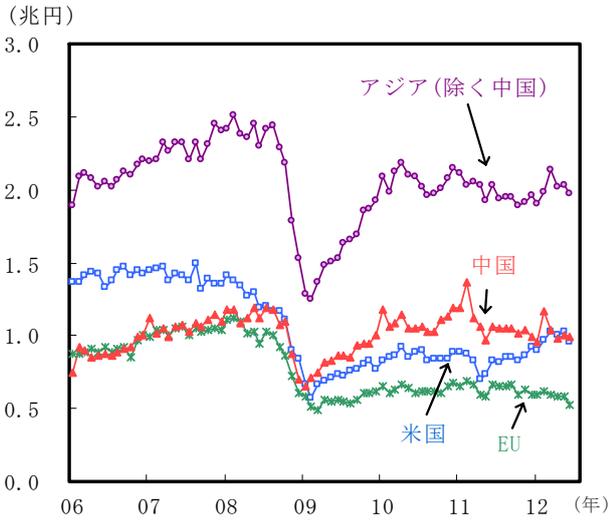


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

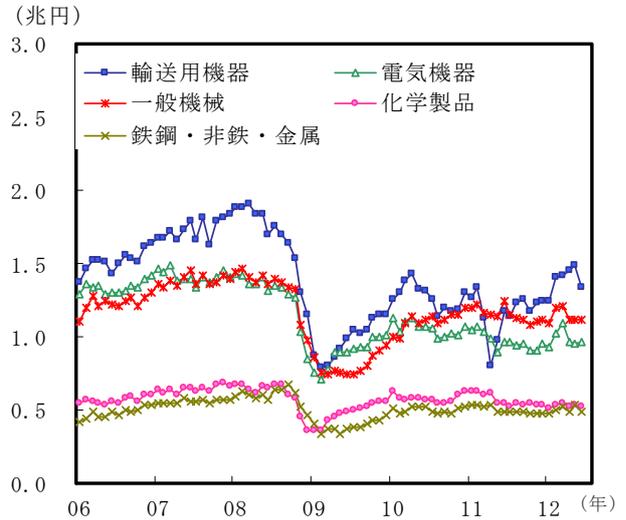


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

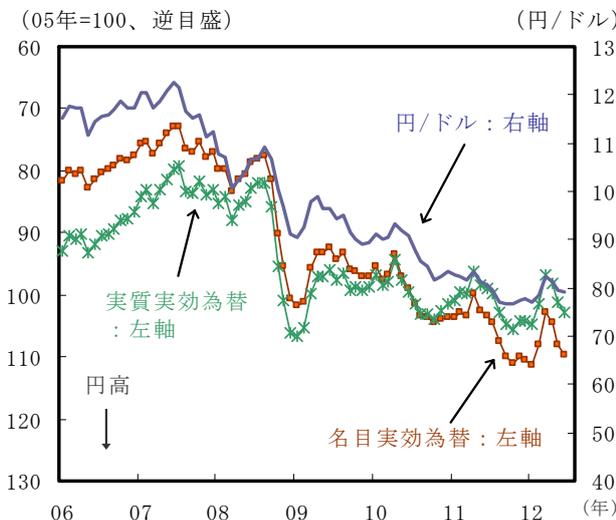


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

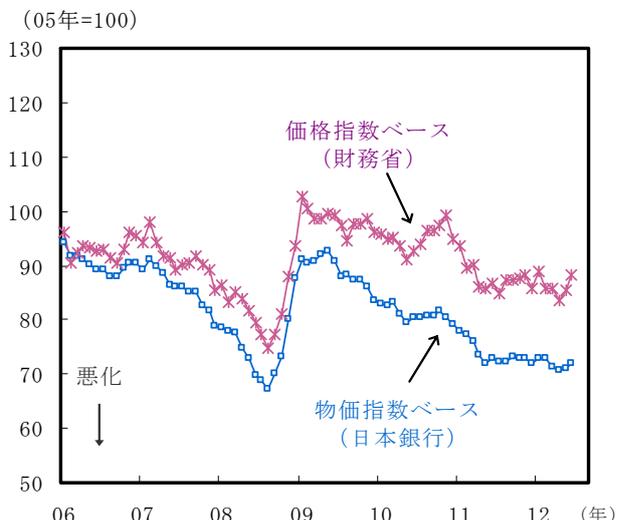


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件

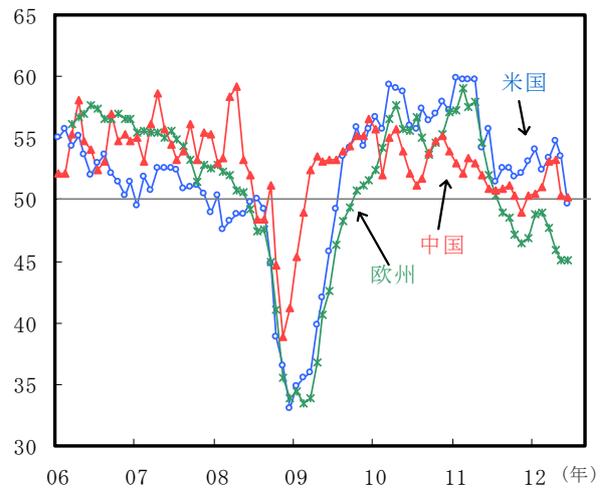
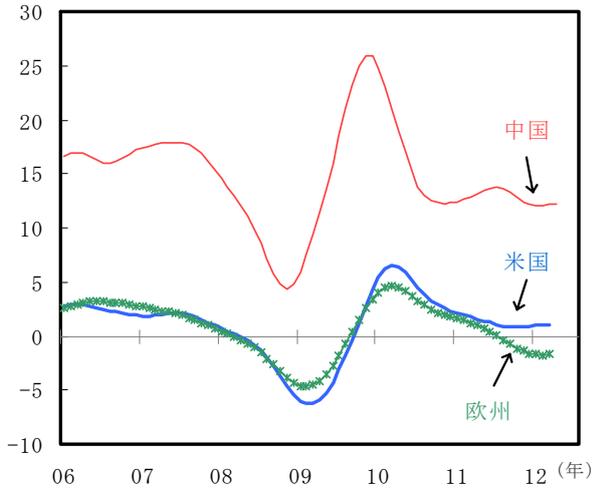


**海外環境**

欧州の景気減速が続く

**OECDの景気先行指数（米国・中国・欧州）**      **製造業PMI（米国・中国・欧州）**

(前年比、%)

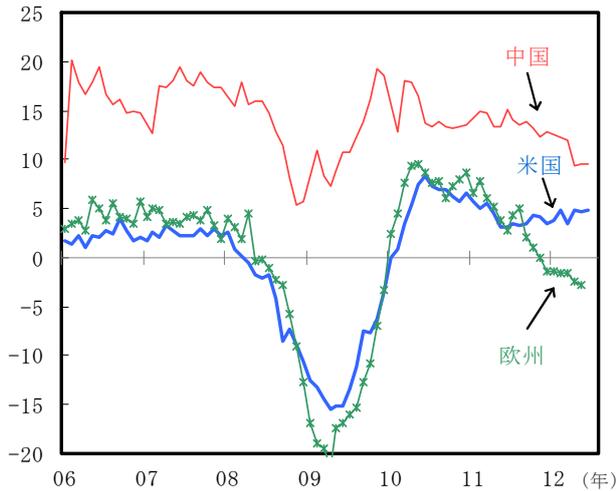


(注) 景気先行指数はトレンドを含むベース。

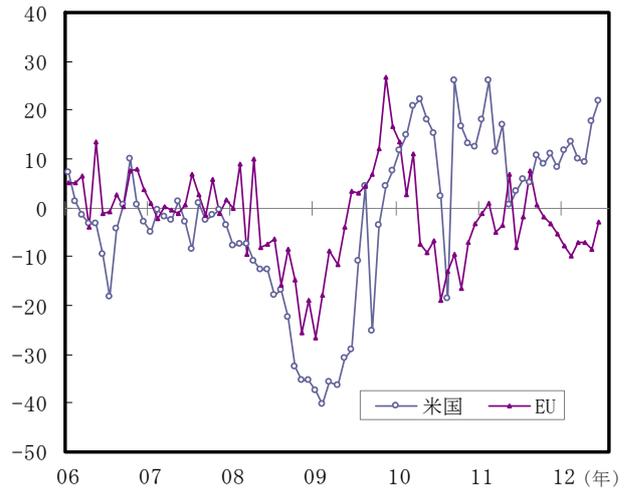
(出所) OECD、米ISM、中国物流購買連合会、Markitより大和総研作成

**鉱工業生産指数（米国・中国・欧州）**      **米国と欧州の自動車販売**

(前年比、%)



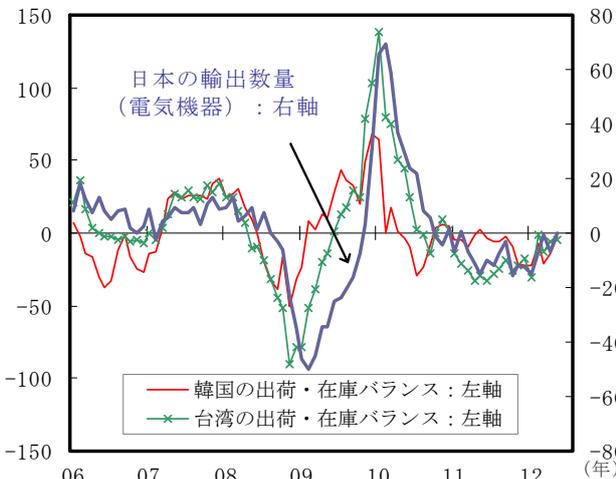
(前年比、%)



(出所) 中国国家统计局、Eurostat、FRB、オートデータ社、欧州自動車工業会(ACEA)より大和総研作成

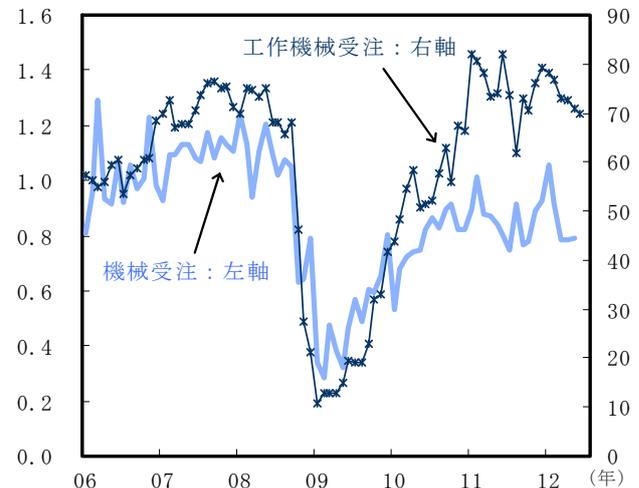
**韓国・台湾の出荷・在庫バランス（電子部品）**      **機械受注と工作機械受注の外需（季節調整値）**

(%pt)



(前年比、%)

(兆円)



(注) 工作機械受注の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、内閣府、日本工作機械工業会統計、CEICより大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲9.2	▲2.7	5.9	7.9	10.0	▲2.3	100.0	▲2.3
食料品	▲26.7	▲14.9	▲12.7	9.8	14.2	1.3	0.5	0.0
原料品	▲1.2	▲2.6	12.4	11.9	40.0	8.4	1.6	0.1
鉱物性燃料	▲33.9	▲38.7	▲18.5	51.0	12.2	▲23.1	1.7	▲0.5
化学製品	▲17.5	▲14.9	▲8.4	▲16.1	▲2.5	▲4.4	9.3	▲0.4
原料別製品	▲10.9	▲6.4	▲0.1	▲5.2	6.1	▲3.0	13.3	▲0.4
鉄鋼	▲11.3	▲12.6	▲3.5	▲12.7	9.3	▲5.8	5.4	▲0.3
非鉄金属	▲14.8	2.9	2.6	2.8	3.4	1.7	1.9	0.0
金属製品	▲3.9	3.7	9.3	3.5	20.2	18.2	1.7	0.3
一般機械	▲8.7	▲1.5	4.5	▲2.4	▲1.9	▲10.2	20.0	▲2.2
電気機器	▲10.0	▲3.4	6.1	▲1.4	5.6	0.4	17.9	0.1
半導体等電子部品	▲15.8	▲6.0	▲9.2	▲10.6	▲6.8	▲6.8	5.1	▲0.4
IC	▲12.8	▲5.0	▲5.2	▲5.5	▲2.0	▲3.6	3.3	▲0.1
映像記録・再生機器	0.9	▲1.5	41.3	88.3	24.3	7.8	1.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲17.5	▲12.6	▲5.2	▲17.5	7.6	4.0	0.7	0.0
電気回路等の機器	▲10.8	▲4.6	3.5	▲5.5	7.2	▲3.2	2.5	▲0.1
輸送用機器	▲1.4	5.4	25.4	81.9	50.6	13.2	25.0	2.9
自動車	2.2	7.4	44.7	219.7	87.4	8.6	14.5	1.1
自動車の部分品	▲4.9	▲1.2	24.2	17.6	46.1	22.1	5.1	0.9
その他	▲10.9	2.3	▲0.4	▲9.5	▲6.1	▲14.6	10.7	▲1.8
科学光学機器	▲7.0	4.5	3.7	4.1	▲1.3	▲6.0	3.1	▲0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.7	11.9	23.9	42.9	38.1	15.1	100.0	15.1
食料品	▲3.2	9.8	10.1	11.1	▲5.3	▲5.9	0.5	▲0.0
原料品	31.6	▲22.0	2.0	▲2.7	160.2	14.6	0.5	0.1
鉱物性燃料	▲25.3	▲35.0	107.3	▲70.8	▲90.4	5.6	1.1	0.1
化学製品	▲17.1	▲4.5	4.6	▲4.2	2.2	3.7	5.0	0.2
原料別製品	▲0.3	15.5	6.7	8.8	22.3	18.1	7.9	1.4
鉄鋼	19.1	75.9	▲5.1	12.9	29.7	26.2	2.4	0.6
非鉄金属	▲21.3	▲32.3	13.6	▲6.1	25.4	18.7	0.7	0.1
金属製品	1.9	18.7	24.7	25.2	52.7	58.6	1.9	0.8
一般機械	▲4.4	12.4	20.7	25.9	17.0	10.3	24.5	2.6
電気機器	1.1	7.2	25.6	19.3	22.6	17.5	15.1	2.6
半導体等電子部品	▲15.1	▲9.2	▲4.7	▲15.6	1.8	14.3	2.0	0.3
IC	▲26.9	▲5.4	▲5.3	▲19.8	▲4.3	11.6	1.1	0.1
映像記録・再生機器	17.9	▲3.4	54.1	147.1	38.4	2.8	1.9	0.1
音響・映像機器の部分品	▲7.9	▲11.0	95.2	▲14.3	6.9	8.4	0.3	0.0
電気回路等の機器	▲3.6	8.9	12.1	13.6	19.6	23.2	1.4	0.3
輸送用機器	11.1	20.0	42.5	149.0	95.5	25.0	36.7	8.4
自動車	14.0	26.9	46.2	317.1	128.5	21.8	27.0	5.6
自動車の部分品	▲6.7	0.5	48.4	25.1	61.9	57.7	6.8	2.9
その他	▲11.2	▲2.1	4.4	0.3	9.6	▲2.6	8.7	▲0.3
科学光学機器	▲21.9	▲8.2	12.4	2.4	4.8	6.2	2.3	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.6	▲10.7	▲9.7	▲2.0	▲0.9	▲21.3	100.0	▲21.3
食料品	▲15.1	3.6	▲17.5	63.9	6.3	▲49.6	0.2	▲0.2
原料品	4.9	15.4	27.2	7.4	68.5	▲23.2	0.9	▲0.2
鉱物性燃料	▲87.2	▲97.3	▲31.2	▲44.1	26.4	▲90.6	0.0	▲0.3
化学製品	▲13.5	▲16.5	▲7.1	▲21.4	▲0.1	▲12.7	8.7	▲1.0
原料別製品	1.9	▲1.8	▲3.3	5.3	▲0.4	▲17.3	7.8	▲1.3
鉄鋼	▲13.3	▲40.4	▲38.6	▲9.6	42.8	▲23.6	1.0	▲0.2
非鉄金属	126.9	174.9	139.2	95.5	24.3	▲9.5	0.8	▲0.1
金属製品	▲14.6	4.1	▲9.5	▲8.5	▲2.9	3.2	1.8	0.0
一般機械	▲11.2	▲11.0	▲11.2	▲5.2	▲4.2	▲23.9	26.0	▲6.4
電気機器	▲13.8	▲9.0	1.7	0.2	▲7.6	▲16.0	21.7	▲3.2
半導体等電子部品	▲30.2	▲22.7	▲38.3	▲43.2	▲44.2	▲44.3	2.7	▲1.7
IC	▲19.4	▲16.0	▲8.8	▲17.5	15.8	1.5	1.6	0.0
映像記録・再生機器	▲19.6	▲21.7	16.8	55.5	14.9	6.9	3.9	0.2
音響・映像機器の部分品	▲20.3	▲22.3	▲4.6	50.0	35.1	32.6	0.9	0.2
電気回路等の機器	▲16.6	▲18.0	▲5.6	▲11.7	▲14.4	▲20.5	1.7	▲0.3
輸送用機器	▲9.2	▲12.6	▲23.9	36.3	19.2	▲20.8	21.1	▲4.4
自動車	▲29.7	▲31.0	▲26.2	104.6	12.5	▲25.0	12.7	▲3.3
自動車の部分品	2.6	▲0.2	5.7	12.8	20.0	▲7.8	5.8	▲0.4
その他	12.0	▲1.8	▲6.6	▲21.5	▲13.5	▲29.0	13.5	▲4.3
科学光学機器	▲15.8	▲7.8	▲6.1	▲17.7	▲22.3	▲31.8	3.7	▲1.3

アジア向け輸出金額 内訳								
	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲13.7	▲6.6	0.5	▲2.6	4.5	▲4.4	100.0	▲4.4
食料品	▲30.2	▲22.7	▲16.8	8.0	21.5	8.3	0.7	0.1
原料品	▲4.8	▲0.6	13.9	17.0	31.6	13.2	2.5	0.3
鉱物性燃料	▲33.9	▲36.7	▲13.9	35.3	20.2	▲25.1	2.1	▲0.7
化学製品	▲19.6	▲16.5	▲10.7	▲12.6	▲5.2	▲6.1	12.8	▲0.8
原料別製品	▲15.9	▲10.9	▲6.0	▲8.6	0.2	▲5.1	16.9	▲0.9
鉄鋼	▲16.6	▲16.6	▲10.3	▲15.4	▲1.8	▲9.8	7.4	▲0.8
非鉄金属	▲21.2	▲1.0	▲3.9	3.3	0.9	▲1.2	3.0	▲0.0
金属製品	▲5.3	▲3.0	8.7	1.7	14.8	13.6	1.9	0.2
一般機械	▲12.9	▲6.1	1.9	▲10.0	▲3.6	▲13.5	19.8	▲2.9
電気機器	▲11.6	▲4.1	2.5	▲4.3	4.5	0.8	22.1	0.2
半導体等電子部品	▲14.6	▲4.3	▲6.6	▲6.1	▲3.3	▲4.0	7.9	▲0.3
IC	▲11.4	▲4.3	▲5.0	▲3.7	▲2.7	▲4.8	5.3	▲0.3
映像記録・再生機器	1.1	15.5	53.5	79.8	25.5	18.4	1.1	0.2
音響・映像機器の部分品	▲17.5	▲7.0	5.3	▲12.2	9.2	2.3	0.8	0.0
電気回路等の機器	▲9.8	▲5.0	2.1	▲9.2	8.7	▲5.1	3.5	▲0.2
輸送用機器	▲5.3	▲1.3	23.2	47.1	59.4	12.4	10.5	1.1
自動車	▲1.2	2.1	46.6	148.6	86.3	4.6	4.3	0.2
自動車の部分品	▲9.3	▲5.7	18.2	11.1	45.7	14.2	4.3	0.5
その他	▲10.2	8.7	4.5	▲1.6	0.6	▲5.2	12.6	▲0.7
科学光学機器	▲6.0	8.0	2.9	6.6	0.6	2.5	3.9	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2012/01	2012/02	2012/03	2012/04	2012/05	2012/06		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲20.2	▲14.0	▲5.9	▲7.1	3.0	▲7.3	100.0	▲7.3
食料品	7.3	▲25.7	▲28.0	118.7	127.9	111.5	0.2	0.1
原料品	▲14.4	▲1.9	8.3	25.3	24.6	▲2.9	3.5	▲0.1
鉱物性燃料	▲23.4	▲27.8	▲36.0	34.1	▲12.2	▲52.6	1.0	▲1.0
化学製品	▲23.0	▲16.1	▲5.9	▲3.8	▲1.1	▲0.7	12.3	▲0.1
原料別製品	▲21.4	▲9.5	▲14.8	▲10.2	▲0.8	▲9.4	13.7	▲1.3
鉄鋼	▲25.9	▲15.7	▲21.4	▲15.7	▲5.3	▲20.2	4.5	▲1.1
非鉄金属	▲18.9	8.9	▲19.2	9.5	7.1	▲2.2	2.6	▲0.1
金属製品	▲17.0	▲14.2	▲2.5	▲11.8	10.0	10.0	1.9	0.2
一般機械	▲31.0	▲28.0	▲18.1	▲31.9	▲14.9	▲24.8	21.3	▲6.5
電気機器	▲13.3	▲9.3	1.9	▲5.7	1.9	1.1	24.6	0.2
半導体等電子部品	▲3.4	0.4	▲2.0	▲8.4	▲3.1	2.6	8.5	0.2
IC	4.3	▲0.7	1.1	▲7.7	▲5.1	▲3.7	5.7	▲0.2
映像記録・再生機器	▲2.7	37.9	63.8	115.6	19.7	40.8	1.9	0.5
音響・映像機器の部分品	▲29.9	▲25.9	▲5.8	▲7.8	▲6.5	6.9	1.1	0.1
電気回路等の機器	▲16.1	▲9.6	0.4	▲14.4	3.2	▲9.6	3.7	▲0.4
輸送用機器	▲13.5	▲5.0	16.9	56.9	74.3	5.8	10.6	0.5
自動車	▲17.0	▲8.2	22.8	254.0	113.5	▲0.0	4.6	▲0.0
自動車の部分品	▲8.6	▲7.8	14.0	6.3	51.4	14.9	5.8	0.7
その他	▲13.4	▲0.2	3.4	1.3	9.6	6.7	12.8	0.7
科学光学機器	▲8.0	16.7	9.8	15.5	10.6	10.9	5.5	0.5

(出所) 財務省統計より大和総研作成